

二〇二一年二月広報室担当例会報告

広報室長 鈴木 崇久

二月十二日(金)十九時より二月
通常例会を行いました。

本来は対面での例会を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により非常事態宣言が延長されたことを受け、当初予定していた対面での例会は開催出来ませんでした。急遽、テーマは変えず私たち広報室として最大限できることは何かと考えました。コロナ禍の中仕事に影響を受けている会員は少なくない。

【逆境を力に】 変えるためには、広告による集客、認知が必要であると考え室員が講師となりデザインに関しての講義を行った。講義の合間にブレイクアウトルーム等の機能を駆使してグループディスカッション等を行い参加者が聞くだけでなく発言の時間を設け双方向型のZOOM例会を行った。

急遽変更などはあったが、室員一人となり参加者にとって有意義な例会開催が出来た。

私が、A-I-Jに入会し室長として始めての例会でした。室員一人一人の持っているパワーの大きさを感じ助け合いながら良いものが作り上げられたと思います。

We can still do it

二〇二一年・二月例会に込めたもの
広報室 編集長 服部 尋

今回、新型コロナウイルスの影響により、急遽講師例会へと内容を変更し、当初は全員参加型でA-I-Jの広告を会員の手で学びながら製作、実際に会費でosting広告を行うという内容でした。昨年と同様にZOOMによる非接触型の例会と内容を変更する事となりました。今回、私が講師を行い、全体の講義内容や進行を検討する中、最も大切にしたい要素がありました。それは、『いかにリアルな参加体験をもたせらるか』という点です。一般的に多くある、『講義を一連聞いてから、感想や気付きを発表する』という進行を見直し、講義の最後に個別のブレイクアウトルームを挟み、その中で参加者一人ひとりに気付きを発表してもらう方法を取り入れることで、参加者全員が一定のリアル感を感じてもらえるように考え、実施したものです。監事講評ではブレイクアウトルームの時間がもっと欲しいといったといった、私としては嬉しい指摘を頂け、今後の例会運営のひとつの新しい手法のひとつになったのではと感じております。

二〇二一年・二月例会に参加して

今回、昭島青年経営者クラブ 二〇二一年 二月例会の見学をさせて頂きました株式会社 CRECIOS 代表取締役 氏家と申します

私は、約八年ほど小さなソフトウェア会社でプログラム・システム開発を学び、その後SaaSサービスを提供している事業会社にて、プロジェクトマネージメント、事業開発を経験致しました。

昨年ITを活用した経営者への最大の事業推進支援を行う会社を設立致しました。まだ経営者として右も左もわからない状況の中、昭島青年経営者クラブ様をご紹介頂き、今回の検索をさせて頂く機会を頂戴致しました。

このような会の参加は、初めてでしたが、アットホームな雰囲気に向かって入れてくださり、皆様の暖かさを感じました。

様々な業種の経営者様とのお話は、自分一人では考えることができない視点があり、とても勉強になりました。ありがとうございました。